



# 卓也さんのミニトマト



8月上旬の人参の種まきが終わり、ホッとする間もなく、今度はミニトマトの手入れや出荷作業で大忙しです。



天候や虫の被害で種代も出ない年が多いのですが、今年のミニトマトは鈴なりで久々にまともな出荷が出来そうです。

## ★難しい時期のミニトマト作り

高柳家のミニトマトが終わり卓也さんのミニトマトが始まっています。ただ、ここ数年の異常気象続きで、8月下旬から出荷するミニトマト作りは、かなり大変。というのも夏の日照りや秋の長雨などの影響でまともに生育する事の方が少ないのです。

振り返ると4年前は8月頭の猛暑で実が割れ、その後は秋の長雨で実が熟さず、ほとんど出荷が出来ませんでした。3年前も同様な状況で、一昨年は久々に天候もまあまあで平年並みの出荷が出来ましたが、昨年は猛暑で花が飛んだり実が割れて壊滅状態。ほとんど出荷が出来ない過去最低レベルの状況でした。過去4年でまともに出荷出来たのは一昨年の1回だけ。「おてんと様のことだから、こればかりはしょうが無いね」と卓也さんはいいますが、さらに8月下旬からは実を食害する虫が増えてきます。本来は秋の気候はミニトマトに丁度良いのですが、虫もこの時期から子孫を残すべく大量発生してくるのです。「虫が出てくるのもしょうがないよね。出てきたら手で捕っているよ。まあ捕りきれないけどね」

このように無農薬では大変な時期のミニトマト栽培ですが、今年は久々に平年並みの収量で、虫も例年に比べるとまだ少なめ。苗作りから始まり、約1,500本の苗の移植、芽掻き、誘引、整枝、収穫と、毎日作業に追われていますが、その苦勞が久々に報われます。他にも水やり、追肥、草取りと時間がいくらあっても足りませんが、今日も暑いハウスの中で汗を流して頑張っています。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

## 【産地情報】

◎9月1日から里芋の出荷開始です。ただ、10月にはいったんお休みになる予定です。また、新サツマ芋、長ネギは10月から出荷開始予定です。